

シニアカレッジ上越同窓会グループ活動「楽足会(らくほかい)」の活動開始  
～ 第1弾 「表寺町さんぽ」～

令和5年4月に新規発足した「シニアカレッジ上越同窓会」(会員64名)では、毎年4月に「総会・講演会・懇親会」、11月に新卒者を迎えて「講演会・懇親会」を活動の大きな柱とするとともに、志や趣味を同じくする人達のグループによる活動推進を目標として取り組んでいます。早速、ウォーキング・ハイキングを趣味とする人達が

生活の中に「歩く」ことを取り入れ、シニアライフを楽しみながら心身の健康維持を目的とし「集まれば仲間、歩けば元気」をスローガンに 「楽足会(らくほかい)」

を一般会員5名と同窓会役員3名で立ち上げ、8月27日(日)にシニアカレッジ新潟上越会場の高陽荘を会場に「楽足会団結式・昼食会」(会員26名中18名参加)を開催、続いて上越市高田地区の「表寺町さんぽ」を実施、浄土真宗大谷派高田別院、浄土宗 善導寺、曹洞宗 太岩寺等を巡り、法話や住職の説明を受け、歩いて健康維持・学びを実践、好評のうち楽しい一日を過ごした。

今後の活動として、9月27日に上杉謙信公が師と仰ぐ名僧天室光育と歩いたのではといわれる上越市春日山地区の「師弟の道」を歩く計画、ほか11月まで毎月1回の活動が予定されている。なお、更に他のグループ活動の立ち上げも検討中で、活発な同窓会活動を目指しています。



“団結式を済ませ ”いざ出発“



上越地方最大級の高田別院山門見学



曹洞宗 太岩寺 焔魔堂にて住職の説明を受けた



浄土宗 善導寺 見学